

市長とランチミーティング⑦ 市民の幸せ願い、地道に奉仕活動

第7回「市長とランチミーティング」は1月17日(月)に「日本赤十字社沖縄県支部石垣市地区奉仕団」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 皆さん、あけましておめでとうございます。ランチミーティングに応募いただき、ありがとうございます。今日は、いろんな話をする中で石垣市の福祉行政にどう活かしていけるかということを議論したいと思えますし、皆様方の日頃抱えておられる課題等、業務の中で今後どういう運動を展開したらよいかということも聴かせていただいで、できれば、市民を巻き込んで大きな動きになればいいのかなと思っております。ぜひ、ご意見をいただきたいと思えます。

日本赤十字社 石垣市地区奉仕団とは、

瀬戸委員長 石垣市地区奉仕団は桃色のジャケットを着用しているの、通称ピンクレディーと呼ばれるおります。当奉仕団は平成4年に発足しまして、18年になり、義援金の募集等いろ



んな活動をしています。団員は43名、うち男性は4名おります。松竹副委員長 奉仕団の活動目標は①社員増強に関する活動②災害救護に関する活動③青少年赤十字に関する活動④献血推進及び血液センター業務に関する

活動⑤石垣地域保健衛生向上のための活動⑥救急法・水上安全法・家庭看護法の普及に関する活動⑦社会福祉施設及び医療施設における活動⑧老人福祉の向上のための活動⑨障がい者福祉のための活動です。

私達ピンクレディー団員は5月の社資募集出発式で二人あるいは三人体制で各会社、事業所を訪問しまして、社資の協力をお願いしております。この活動は9月まで実施しております。第1回からの移動献血でも協力態勢に入ります。移動献血では、各班に分かれ午前・午後の部、協力できる方は一日というかたちで協力活動しています。11月の石垣島まつりでは、真栄里公園周辺の道路や市民会館の通りの早朝清掃を継続して行っております。歳末たすけあい、海外たすけあいの募集にも関わって活動しています。福祉施設慰問として、おもと学園のしめ縄作りにも忙しい子ども達へ手作りのお菓子やみかん等を届ける奉仕活動を19年間しています。防災訓練では奉仕団ができる炊き出し班、心のケア等、奉仕団にはいろんな職種の方がおり、災害

がいつ起こっても出勤できる心構えで活動しています。市長を含め、たくさん市の職員の方にもご理解いただきまして、こういう活動をしている団体と認識していただきたいと思えます。

社資募集にご協力ください

中山市長 奉仕団の皆さんは企業等を回られています。社資金額は決まっているのですか。松竹副委員長 気持ちとしての金額で、いただいております。

団員 4年前頃から不景気の影響で、これまで1万円いただいていた企業が5千円、3千円と減額している状況もあります。30万円、50万円の大口の社資をいただく企業もあります。目標を達成するには、市の担当者も企業も奉仕団の中に入っていないと、大口の社資をいただく時には中山市長も一緒に行動していただくと相手も多くの社資を出していただくのではないかと思っています。中山市長よろしくお願ひします。漢那副市長 ちなみに何社ぐらい回られますか。団員 4班に分けて600件ほど訪問します。夏場の活動なので、とても暑くて、そんな中でボランティア活動です。団員 宮古島市は出発式の時に市長や担当者も同行して、大口の企業を訪問するようです。大

市長とランチミーティング

口の企業から社資をいただく場合は、奉仕団員で行くより、市長や担当者も同行して訪問するほうが良いと思います。鳩間総務部長 昨年の年末に大口の企業へお願いに参りました。先ほど話にありましたように景気に左右される活動ですから、奉仕団の皆さんには、これまでの長い経験から、その変化を感じていらっしやると思いますが、ご指摘のありました市との連携について成果が上がるようなことをどうすればいいのか、検討したいと思います。

団員 市の担当者も瀬戸委員長と各企業を訪問したり、お願いの文書を送付していますが、景気に関係します。景気が良いと多くいただくことができるんですが、気持ちとしての社資ですから、ありがたく受けます。人から物をもらうというのは、なかなか難しいです。私達はピンクレディーですので、四苦八苦しながらも笑顔をやさず、活動しています。

団員 最近、真栄里、平得にいろいろな店舗が大きく営業しています。それらの店舗に社資募集で訪問すると「本店・本社で出しているのよ」と言われます。石垣市内で営業し、市民が購入することで成り立っているのに、なぜ石垣市で出してくれないかという疑問があります。市から文書でお願いし、数回訪問しても大きな企業は本社からの指示がないとできないという

ケースがあります。企業もそれぞれの立場があるので、無理強いではないという気がしました。このような状況を行政の方で、どうにかできないですか。

中山市長 本社扱いの企業の一覧表を担当の方で集め、市に出していただきましたら、この本市から文書を送付して、お願いすることはできません。

献血の目標達成率は

県内トップ！

中山市長 献血の時は市役所の玄関ロビーで活動されていますね。

団員 献血では献血推進本部から講師を招いて血液研修会を開催し、必要な知識を身につけて活動しています。献血のお手伝いは献血する方にお菓子や飲み物をおあげしたり、顔をうかがって、ゆんたくしながらのコミュニケーションです。

団員 以前、農家の方がかぼちゃが豊作で提供してくださったり、白菜を提供することもありました。市に予算があれば、市が農家から野菜等を買って提供していただきました。この野菜をもらうのを楽しみに献血する方もいます。「今回は野菜はないの」とか、「本土の献血の提供品より少ない」と指摘する方もいます。献血は採血によってですが、自分の健康を知ることが大事ですので、提供品よりも健康のために献血にいらしてください。

さいと話しています。鳩間総務部長 そういう地道な取り組みが全県トップというところで、すばいことです。

団員 県内市町村の献血目標達成率は80%、90%ですが、石垣市は120%です。これはすばらしいことです。これまで献血推進員を担当されてきた方々の努力の積み重ねで120%を継続しています。献血推進員はチラシを配布したり会場施設で放送したり本場に頑張っていたいただきました。そのような地道な努力のおかげで私達も頑張る励みになっています。

団員 奉仕団も前もってチラシを配ったり、ポスターを貼ったり全員で活動をしています。そのような事前の活動と市民の献血に対する理解が深いので達成率が高いのではないかと思います。

災害時は小さな取り組みで大きな貢献を

団員 平成18年の台風で白保、宮良地区が長期間、断水が続いたことがありました。白保の老人ホームからトイレの水を流す際、高齢者はバケツの水を持つのに無理があるので、ペットボトルに入れた水がほしいと、お願いされました。大量に届けましたが、間に合わないというところで八重山病院に事情を話し、透析に使っているボトルを譲っ

てもらい届けました。この活動は老人ホームから大変喜ばれました。災害時の小さな取り組みを今後どういうふうに関係していけばいいのか、病院関係や人を預かっているところにも目を向けて活動することが大切だと感じました。

団員 社資募集で企業を訪問する際、「社資は何に使われているか」という質問を受けます。災害時に物資等を配布した場合は新聞等でお知らせしてもらいたいという思いがあります。

中山市長 今年、平成23年度沖縄県の防災訓練が本市で行われる予定です。実際に災害が起こった時に役に立つよう、いざという時に動ける練習をやるための訓練なので、本格的な防災訓練にしようと考えています。奉仕団の皆さんにお声をかけますので、一緒に大きな動きで実施しましょう。

団員 いざ大きな災害が発生した場合、私達もパニックに陥ると思いますので、石垣の人々がどこへ避難したらよいか、どういう心構えが必要か、ということを市民みんなで、2年に一度ぐらい、訓練できるといいですね。

中山市長 今日話があるとうございしました。今日出た話は協力できるところは、すぐに協力していきたいと思えます。今後とも連携をとりながら、いろいろなやっていこうと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。